

第3学年 学年通信	心意気 ころざしを語り、夢に向かって 心意気を発揮する生徒になる。	豊田中学校 No. 7 H29.6.6 文責 直井 弘之
------------------	---	--

題字の下言葉。去年は、『気持ちを察して行動できる』でした。今年の3年生の目指す姿は、『夢に向かって心意気を発揮する』です。現実、最上級学年として今、とても苦しい時期です。

学校の顔として、下級生の先頭に立ち、すべて我々中心に動いていく重圧。生徒会本部や専門委員長、学年運営委員（学級委員）が、現実と理想のギャップの中でもがいています。豊田中学校創立 70 周年の節目の学年としての責任も感じながら。部活動も、『引退』の文字が脳裏をかすめます。2 年半、途中でくじけそうになったり、諦めかけたり。そのたびに、歯を食いしばって頑張ってきました。みんな頑張ってきたのですが、コートに立てる選手もいれば、サポートに回る生徒もいます。それは、仕方の無いことだけれど、納得できないもどかしさ。割り切れない自分に苛立ちます。目標を掲げても、同じ方向に向けない部員に腹立たしさを感じます。それは、素直な人としての感情です。悪いことではありません。最後を気持ちよく終わりたいから切に願うのです。頑張っている生徒ほど、その想いが強いのも分かります。早く、一人ひとりが今の自分の立ち居地を見つけ、仲間として頑張ってきた 2 年半が価値あるものだったと感じて幕を閉じることが出来ることを希望します。

もう 1 つは、『受検生』としての苦しさです。自分の希望・親の期待、押しつぶされそうになっている生徒も出始めました。もっと進路を気楽に考えましょう。次の 3 年間で何をしたいのか、何を求めるのか。努力はしてほしいですが、その努力の結果で合格できる学校を選べばいいじゃないですか。どこの高校へ行っても勉強する内容は、同じです。選択の仕方（受検校の決定）は、学校名が先ではありません。やりたいことが先です。

今は、みんな苦しいです。だからといって、自分のやりきれない気持ちを、他人をいじることや暴言・暴力にうったえたり、他人にぶついたり、わがままを言ったり、人を責めたり、人のせいにしたり、逃げ出しても何の解決にもなりません。冷静になって、素直になって、今自分が出来ることに最善を尽くそうとする自分を見付けて欲しいと願います。ご家庭の皆さんにお願いします。家が、心を開放できる安住（安息）の場所になるようご配慮下さい。生徒は、学校で戦っています。家の中まで家族の戦いの場になったら、生徒ははじけてしまいます。そうならないようお願いします。

☆「鉄人遠足」が無事に終了しました。

中学生最後の鉄人遠足は、南（海）に向かって歩きました。A コースは、竜洋昆虫公園。B コースは、竜洋海洋公園。去年と同じコースでした。出発前は、去年体験しているだけあって、余裕たっぷりの表情でした。出発時は、肌寒く雨が落ちてきそうな天気でしたが、カップを持っている生徒は、ほとんどいませんでした。その甲斐あって、天候はどんどん回復し、真夏の日差しが照りつける中の実施となりました。B コースを選択した 1 グループは、常に集団の先頭で歩いてくれたこと、嬉しく思います。A コースの先頭は、午前 10 時 43 分に昆虫公園に到着しました。今年は、前半を終えた時点で疲れてブツブツ言っている生徒は、1 人だけでした。さすが体力のついた 3 年生だと思いました。昼食・休憩を終え、岐路に着きました。たくさんの班が、1 番を狙って園田先生を追い立てました。最後は、園田先生の足が……。生徒が先になりました。ゴールは壮絶でした。5 グループが 1 位を競い、西門から到着受付まで、ダッシュ。そして、大転倒。血も見ました。到着は、15 時 08 分。1 位は、同率で 5 グループ。よく頑張りました。去年は、1 年生より帰りが遅かったのですが、今年は 3 年生として面目を保ちました。

《鉄人遠足のスナップ》

【出発前の受付・出発式】



【いざ、出発】 ↓Aコース Bコース→



【昆虫公園に到着】



【ゴール前のダッシュ】



【昼の休憩：完全に幼児化・完全にダウン】



【お知らせとお願い】

豊田中学校の年間予定では、7月11日（火）は、参観会・学級懇談会になっていますが、3年生のみ、行いません。7月11日は終日、3年生のみ『校内実力テスト』を行います。夏休みに行う三者面談の、進路指導資料とするためです。よろしくお願いいたします。